専門学校) 2022年度

岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校

1. 学校の教育目標

「わが学園は教育を通して『努力心』『誠実心』『独立心』を養い、平和社会の建設に貢献する人材を育成することを使命とする」 この本学園の建学の精神のもと、「日本で、また母国で堂々と働くことのできる人材、社会にとって有用な人材を育成する」ことを教育目標 として掲げ、その実現に努力している。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・就職実績・進学実績の向上及び進路先で活躍できる人材の育成
- ・コロナ禍における学修機会の維持、教育の質の担保
- ・コロナ禍における適切な募集活動と学生確保
- ・コロナ状況に応じた学校行事等の再開
- ・専門資格の高い合格率の維持、さらなる向上(経営マネジメント科、情報ビジネス科)
- ・外部試験の成績向上、日本語での「発信力」(スピーチカ)の強化(日本語科)
- ・担任のみに頼る運営ではなく、チームで取り組める体制作り(日本語科)
- ・保育士・幼稚園教諭の両免取得が可能な教育(併修)の正常運営(保育士養成科)
- ・ユニットベース(当学園学生管理システム)の運用による学生状況把握と指導への活用

3. 評価項目の達成及び取組状況

	(1)教育理念·目標	委員の評価	Α
	評 価 項 目		
	・学校の理念・目的・育成人材像を定めているか		
・育成人材像に合わせ、学科ごとに特色ある教育活動に取り組んでいるか			
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ・学校の理念・目的・育成人材像を学生・保護者に向けて発信しているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、関連する業界ニーズに適合しているか			

①課題

- ・社会の変化、時代の変化のスピードが加速する中、本当に時代に合った教育を行えているのか、の継続的な確認が必要
- ・「社会経済のニーズ」をしっかり把握できているのか、その上で将来構想を立てるようにしているのか、の確認が必要
- ・時代の変化に対応できる人材の育成も必要(目標とする人材像の見直しも必要)

②今後の改善方策

- ・社会情勢などの情報を適宜、職員で共有する
- ・社会が常に変わることを意識しながら、求める人材像を育てる体制を整えていく
- ・社会経済のニーズ及び関連する政策の分析
- ・学校の目標、育てる人材像の適宜見直し

③特記事項

・例年実施している教育システムの見直しの強化は一つの対応策になるであろう

・理念(建学の精神)等に沿った運営方針を定めているか

(2) 学校運営委員の評価B評価項目

- ・理念(建学の精神)等に沿った事業計画を定めているか
- ・学生数(あるいは受け入れる学生の言語数)に応じた組織体制になっているか
- ・規程やマニュアルが整備され、組織運営が適切に行われているか
- ・人事、給与に関する規程等を整備しているか
- ・指示命令系統が明確であり、意思決定システムが機能しているか
- ・固定資産、備品等の購入、管理が制度に基づき適切に行われているか
- ・シラバス等、教育活動等に関する情報公開を適切に行っているか
- ・情報システム化等により業務の効率化を図っているか

1)課題

- ・学生数に対応できる人員数ではないと感じる
- ・学生数に対して、生活指導員の数が不足していると感じる。また、生活指導員が女性だけというのも時代に合っていないように感じる
- ・教育面での指示命令系統が曖昧であると感じる

②今後の改善方策

- ・教職員を増員し、学生数に見合った体制を構築する
- ・規程の改訂への取組みの継続(学校運営)
- ・人事・給与に関する規程の適切な保管及び現場への周知

③特記事項

- ・学校自己評価や科目シラバスをHPにて公開している
- ・高等教育修学支援制度の認可を取得
- ・2023年度より生活指導員の増員を決定・採用している。教員数も増員している

(3)教育活動 委員の評価 **B**

評価項目

- ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等を定めているか
- ・学科ごとに修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか
- ・教育目的・目標に沿ったカリキュラム編成になっており、目標達成に必要な学修時間を確保しているか
- ・教育目標に合致した教材が選定されているか
- ・キャリア教育を実施しているか
- ・カリキュラムの作成・見直し等をかける際、外部有識者の意見を反映しているか
- ・インターンシップ、実技実習等に関する定めがあり、体系的に実施しているか
- ・授業アンケートを実施し、評価・フィードバックを行っているか
- ・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確であり、判定会議を設けているか
- ・目標とする資格(免許)を、カリキュラムの中で明確に位置付けているか
- ・資格(免許)取得の指導体制が整っているか
- ・資格・要件を満たした教員を確保しているか
- ・教員の能力開発、指導力育成、資質向上のための取組み(研修等)を行っているか

①課題

- ・日本語科では、入学時のレベルに応じた教育到達レベルを明確に設定する必要を感じる
- ・教員の能力開発をしっかりとシステム化して実施して欲しい
- ・個々の教員のスキルアップのための研修等の充実化

②今後の改善方策

- ・学生に提示する到達レベル目標の明確化
- ・個々の教員のスキルアップのための研修等の充実化
- ・新規入職者への指導・サポート体制の明確化

③特記事項

- ・年に2回の授業アンケートを確実に実施し、フィードバックにより授業の質の担保・研鑽を図っている
- ・年度末に進級・卒業判定会議を開催し、基準を基に進級・卒業を判定している
- ・学園全体、また部門による全体研修を毎年、年に2回実施している

(4) 学修成果 委員の評価 委員の評価 A

評価項目

- ・学生の自己評価(PA等)を実施しているか ※PA・・・パフォーマンスアセスメント
- ・卒業後の進路を把握しているか
- ・進路達成(就職率・進学率)の向上が図られているか
- ・検定合格、資格取得、免許取得の状況を把握しているか
- ・資格・免許取得率の向上が図られているか
- ・ (成果発表を含め) 学習成果を学外に対して示しているか
- ・卒業生のキャリア形成、社会的な活躍や評価を把握しているか

①課題

- ・学修成果を学外に示す機会が少ない
- ・卒業生の進路は把握しているが、その後の活躍状況の把握ができていない
- ・日本語科・JLPTの合格実績の把握に課題がある

②今後の改善方策

- ・コロナ禍での外部への成果伝達の手段の工夫
- ・卒業後の活躍状況を校友会との連携で把握していく
- ・コロナ明けを見据えての企業連携活動の準備

③特記事項

- ・部門によりPA表を上手く活用し、学生たちが自身の成長を感じることができるようにしている
- ・校友会との連携により卒業後に学校とコンタクトを取りやすい仕組み作りを検討中

(5) 学生支援 委員の評価 **A**

評価項目

- ・進路指導(就職・進学)に関する支援体制は整備されているか
- ・学生定期面談を計画・実施しているか
- ・学生が適宜相談に来られる体制を整えているか
- ・欠席が多い、学習態度不良の学生に対し早期のフォローがなされているか、その仕組みがあるか
- ・休日及び長期休暇中、災害など緊急時に学生と連絡を取る手段があり、対応が可能か
- ・退学率の低減が図られているか
- ・学生の生活状況を定期的に把握し、相談にのる等の支援をしているか
- ・健康診断を定期的に実施しているか
- ・避難訓練を定期的に実施いているか

- ・防災用品が備蓄されているか
- ・学生寮の設置、不動産会社紹介などの生活環境支援体制を整備しているか
- ・保護者(留学生は送り出し機関や母校)と適切に連携しているか、その体制があるか
- ・卒業生への支援体制があるか
- ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

1)課題

- ・地震や大雨などの災害に対する対策の強化が必要
- ・卒業生への支援体制の強化(卒業後の連絡手段の確立を含む)
- ・学牛個別相談のための面談ルームの必要

②今後の改善方策

- ・校友会と連携した卒業生の状況把握とその支援
- ・留学生にも分かりやすい防災の冊子などの作成と配布
- ・生活指導員の増員

③特記事項

- ・昨年度に続き、在留期間更新時の不許可による退学者は出ていない(専門課程)
- ・校友会との連携は必須

(6)教育環境 委員の評価 B

評価項目

- ・校地・校舎面積は、専修学校設置基準また日本語教育機関の告示基準に適合しているか
- ・教育上の必要に十分対応した施設・設備、教具、備品等を整備しているか
- ・教室内は十分な照度があり、換気がなされているか
- ・視聴覚教材を使用可能な設備があるか
- ・学外での実習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか
- ・防災に対する体制を整備し、組織として対応が可能な状態か
- ・学内施設・設備の点検を定期的に行い、安全の確保に努めているか

①課題

- ・ネットワークインフラの強化、空調設備の劣化
- ・防災に対する体制の整備
- ・視聴覚教具に不具合、不調のあるものが散見される

②今後の改善方策

- ・ネットワークインフラの充分な帯域確保、空調設備の更新
- ・防災体制の強化
- ・視聴覚教具の整備・更新

③特記事項

- ・3号館では、学生用PCの新規購入、学生用サーバーの更改を行った
- ・1号館でも各教室へのPC配備を行った(2023年度から使用可能)
- ・1号館、4号館のPCの改良(SSDへの換装、メモリ増設など)により2023年度に備えている

(7) 学生の受け入れ募集

委員の評価 🔥 🗛

評価項目

- ・接続する教育機関(高等学校、日本語学校、送り出し機関等)に対し適切な情報提供をしているか
- ・入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っているか
- ・学校見学対応を適切に行っているか
- ・募集定員を定めているか
- ・教育内容、授業料等の正確な学校情報をインターネット上で開示しているか
- ・入学選考基準を明確に定め、適切に運用しているか
- ・入学選考結果を入学後の学生指導、授業改善等に活用しているか
- ・進路実現実績、学生満足度に対し、学納金は妥当なものとなっているか

1課題

- ・入学選考基準の明確化、国際課との連携(日本語科)
- ・インターネット上の授業情報が現状の授業内容と一致していないように思える点がある
- ・学科ごとに預り金の使用状況に差がある

②今後の改善方策

- ・入学時選考基準の情報共有、国際課との連携(日本語科)
- ・学科ごとに預り金の金額を設定する

③特記事項

- ・2022年度4月生は例年の2.5倍以上の学生の受け入れを行った(待機学生のまとめての入国対応)
- ・日本語科は、2023年度より入学定員、総定員を増加させた(320名定員⇒400名定員)
- ・保育士養成科は、2023年度より募集停止となっている

(8) 財務 委員の評価 **A**

評価項目

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ・単年度予算、中期計画を策定しているか?
- ・予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか
- ・予算及び計画に基づき、適正に執行・管理しているか
- ・適正な会計監査が実施されているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

①課題

- ・コロナ禍での適正な予算作成と執行
- ・少子化が進む中で、中長期的にも安定的に学生募集を継続する新たな方策

②今後の改善方策

- ・幅広い国や地域からの学生募集の強化(海外募集)
- ・学生から選ばれる学校として継続していけるよう、教育の質の維持また向上の検討

③特記事項

- ・公認会計士事務所による監査を受けている
- ・財務情報の公開可能な体制を整えている

(9) 法令等の遵守 委員の評価 委員の評価 A

評価項目

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守し、適正な学校運営を行っているか
- ・個人情報保護のための対策を実施しているか
- ・出入国在留管理庁ほか関係官庁等への提出、報告を遅滞なく行っているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか
- ・学校関係者評価の委員会を組織し、評価を行っているか
- ・学校関係者評価を公表しているか
- ・学校ホームページに「情報公開」を適切に掲載しているか
- ・入管法上の留意点について学生へ伝達、指導等を定期的に行っているか
- ・在留に関する学生の最新情報を把握しているか
- ・在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか

①課題

- ・家族滞在や定住者などの在留資格の多様化への対応の強化
- ・自己評価の実施に対し、その改善行動が不十分であると感じる
- ・学生情報の更新をもっとスピーディーに行う必要があると感じる(学生への指導)

②今後の改善方策

- ・部内研修等による在留資格や関連法令への理解の充実
- ・自己評価後の改善行動の実施と見える化

③特記事項

- ・当学園の全体研修において個人情報や肖像権に関する研修を実施している
- ・各科HPの「情報公開」リンクから、シラバス、自己評価、学校関係者評価等の情報の閲覧が可能
- ・高等教育修学支援新制度の対象校に認定されている

(10) 社会貢献・地域貢献

委員の評価

C

- 評 価 項 目
- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ・学生のボランティア活動を奨励し、活動への参加を支援しているか
- ・地域交流や地域活動を実施しているか
- ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

①課題

- ・「過去」の活動実績がシェアされず、取り組みのきっかけを得られないでいる
- ・コロナ禍が続き、この面での意識が希薄になっている
- ・地域との関わりの減少傾向(コロナに関わらず)

②今後の改善方策

- ・過去の活動実績の掘り起こし及び取り組み可能な活動を洗い出し
- ・地域住民との交流の場の設置検討、地域ボランティア活動の計画
- ・公開講座の検討

③特記事項

- ・公共職業訓練の受託を行っている(保育士養成科)
- ・近隣施設との交流や発表会への招待を行っている(保育士養成科)

(11) 国際交流 委員の評価 **A**

評価項目

- ・留学生の受入れを戦略的、組織的に行っているか
- ・留学生の受入れ、在籍管理を適正に行っているか
- ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
- ・学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか
- ・留学生在籍部門に関し、出入国在留管理局から「適正校」の認定を受けているか

①課題

- ・留学生の学修・生活指導等について、担任の負担が大きい
- ・問題ある学生への対応の効率化

②今後の改善方策

- ・生活指導員の配置
- ・処分が必要な学生対応の流れの明確化

③特記事項

- ・「適正校」認定を継続できている(留学生部門)
- ・保育士養成科は日本人学生のみ在籍している
- ※ 各評価項目における評価点(「適切:4」、「ほぼ適切:3」、「やや不適切:2」、「不適切:1」) その平均値(小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示)を以下の基準により表示した

評価	基準	
А	4.0 ~ 3.5	
В	$3.5 \sim 3.0$	
С	3.0 ∼ 2.5	
D	2.5未満	

評価者:岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校教職員

(評価期間:2022年4月1日~2023年3月31日)